

広報



特集 その日に備えて

## 雨上がりの紫陽花に囲まれて

あじさい  
テルメ柏陵健康温泉館の恒例イベント「紫陽花まつり」が、7月2日に開催されました。この日は敷地内に植えられた約2万株のあじさいが見頃を迎えており、家族連れなど大勢の方が来場。紫やピンク、水色など、淡く美しく色付いた花々に見入っていました。



平成29年

7

No. 677

昨年10月2日に旧本郷西小学校で実施された、町の総合防災訓練。断水が起こった時に備え、非常用飲料水を入れるバッグの使い方について説明を受ける地域の皆さん



# その日に備えて

## ～家族と地域を守る防災～

昭和42年、県内各地に未曾有の被害をもたらした「羽越水害」。町内では、増水した最上川の水位が旧最上橋の橋げた近くまで上昇し、川岸付近の集落では、全壊・流出した家屋が合わせて35棟にもものぼるといふ甚大な被害を受けました。あれから今年でちょうど50年。防災行政無線の本格運用が始まり、過去の災害を踏まえた対策も進んでいます。突然の災害の恐怖に、私たちはどう向き合うべきか、町の情報伝達体制とともに、災害対策についてお伝えします。

### 防災行政無線運用で 町内全域へ情報発信

今年4月1日、本町で整備を進めていた防災行政無線の運用がスタートしました。豪雨、台風、地震などの災害によって、町民の皆さんの生活が脅かされる恐れのある時、町内44カ所に設置された屋外スピーカから、緊急情報を広くお伝えすることができます。特に、有事の際などに全国瞬時警報システム（J-ALERT）<sup>ジェイアラート</sup>からの国民保護情報、緊急地震速報気象の特別警報などを即座に発信できるほか、災害発生時に町が発令する避難指示などの情報を、避難対象となった地域に絞ってお伝えすることが可能です。一刻を争う事態となった場合に、迅速に正確な情報を伝えられる防災行政無線は、情報伝達の要といえます。

### いろいろな手段で 情報収集と判断を

大規模な災害が発生した場合、そして自宅から避難して生活を送ることになった場合には、さまざまな媒体から発せられる情報を収集し、刻々と変化していく状況を常に把握しておくことが重要になります。防災行政無線のほかに、非常時に町がおこなう情報伝達の手段として、無料で利用できるメール配信サービスがあります。携帯端末で受信できるメールアドレスを登録しておけば、災害発生時に必要となる情報を受信することができます。また、町の公式ホームページでも災害情報をお知らせしていきます。このほか、テレビやラジオを通じて流れる気象情報や災害情報に耳を傾け、最新の状況や今後の見通し、

## 災害などが発生した際の防災行政無線の放送内容（例）

災害などの種類		放送内容	放送が流れた際取るべき行動	放送地域
弾道ミサイルに関する情報		ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。当地域に着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難してください。近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。</li> <li>・屋内にいる場合は、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。</li> <li>・行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。</li> </ul>	町内全域
洪水発生時の避難指示など	避難準備・高齢者等避難開始	〇〇地区に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令しました。〇〇川が氾濫する恐れのある水位に近づいています。川沿いにお住まいの方は、避難を開始してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも避難ができるよう準備をしてください。身の危険を感じる人は、避難を開始してください。</li> <li>・避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方など）は避難を開始してください。</li> </ul>	避難対象地域
	避難勧告	〇〇地区に「避難勧告」を発令しました。〇〇川が氾濫する恐れのある水位に到達しました。速やかに避難を開始してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所に避難をしてください。</li> <li>・地下などにいる人は、速やかに安全な場所に避難をしてください。</li> </ul>	
	避難指示（緊急）	〇〇地区に「避難指示」を発令しました。〇〇川が氾濫する恐れがあります。まだ避難していない方は、緊急に避難してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしてください。</li> <li>・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしてください。</li> </ul>	
有害鳥獣情報（クマ目撃など）		本日、〇時頃、〇〇周辺でクマが目撃されました。周辺にお住まいの方は、ご注意ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クマを目撃した場合は近寄らず、警察署もしくは役場にご連絡ください。</li> </ul>	出没地域

※上記は放送の一例です。上記以外の災害や事件などが発生した際にも、放送がおこなわれます。

※実際に放送するメッセージの内容は、上記と異なる場合があります。



▲県内各地に深い爪あとを残した「羽越水害」の記録を伝える、50周年巡回パネル展

二次災害の有無などについて知っておくことが、適切な行動をとるための大切な判断材料となります。

### 大災害はいつも突然やってくる

「羽越水害」から9年後。今から41年前の昭和51年に発生した「8・6水害」では、月布川の氾濫によって浸水や土砂災害が相次ぎ、流域の集落が大きな被害を受けました。近年では、4年前の「7・18水害」、3年前の「7・9水害」と、2年連続の豪雨災害に見舞われています。

こうした過去の災害の経験を踏まえ、町では昨年3月に洪水避難地図（洪水ハザードマップ）を改定。豪雨

性のある場所、がけ崩れなどの土砂災害が発生する恐れのある場所が地図上で色分けされており、一目で確認できるようになっています。

しかし、こうした被害予想はあくまでも想定に過ぎません。ハザードマップに記された範囲以外の場所でも、浸水などの被害が発生する恐れは十分にあります。かつて起こった以上の大規模な自然災害は、ある日突然やってくるかもしれません。

### 普段からの備えが災害から命を守る

災害から身を守る手段を示す言葉として、「自助」「公助」「共助」というものがあります。このうち「公助」とは、消防や警察、自衛隊などの公的機関による災害支援活動を表します。しかし、瞬時に対応することが難しい突発的な災害に直面した時には、「自助」すなわち「自分の身は自分で守る」ということが、最も確実に重要な対策となります。いざという時、自分や家族の安全

# その日が来たら――

## ある家族の緊急避難シミュレーション

最上川沿いのある地区で、妻と小学生の長女、長男の4人家族で暮らす「Aさん」を例にとり、実際に水害が発生した時の行動を想定してみました。  
※この物語はフィクションであり、実在の人物や地域とは関連ありません。

### 午前7時～午後3時 ある休日の朝、それは起こった

屋根を叩く雨の音で目が覚めた。テレビで気象情報を確認すると、大江町を含む県内の市町村に「大雨警報」が発令されていた。雨はどんどん強まってくるようだ。テレビのボリウムを上げ、刻々と変わっていく気象情報に耳を傾けた。

### 午後3時～午後6時 避難準備・高齢者等避難開始

お昼を過ぎて、雨が止む気配はまったくみられない。2階に上がり、窓の外に目をやった。最上川の水は茶褐色に濁り、水位も普段より上がっているように見えた（※1）。

そんな時、遠くから雨音に混じってチャイムのような音が聞こえてくるのに気が付いた。防災行政無線の放送かもしれないと思い、聞きやすいよう窓を少し開けて耳をすませた（※2）。「避難準備・高

齢者等避難開始を発令しました」という声が聞こえてくる。最上川が氾濫する恐れがあるようだ。ふと、隣の家の様子が気になった。お隣には足の不自由な70代の女性・Bさんが一人で暮らしている。電話をかけてみたが、出る様子はない。こんな雨の日にわざわざ出かけるとは考えにくかった。もしかすると、さっきの放送を聞いて早めに避難したのかもしれない。

町が作成した洪水ハザードマップでは、私の家も2階まで水が上がってくる可能性があり、いち早く避難しなければならぬ。急いで階段を下りて物置に向かい、こんな時のために必要なものを詰め込んでおいたりユックサックの中心を確認した。

### 午後6時～午後7時 避難勧告発令 小学校を目指す

夕方、再び防災行政無線のアナウンスが放送された――「避難勧

を守るために、即座に適切な行動をとれるかどうか――そのカギは、日頃からの情報収集と、非常時に必要な物品の備えです。具体的には、まずハザードマップなどで危険箇所や避難所、避難所へ向かうためのルートなどを確認しておくことが挙げられます。

危険が身近に迫り、避難しなければならなくなった時の持ち出し品や、自宅で長期間待機する必要に迫られた時のための備蓄品を、普段から準備しておくことも重要です。

## ともに助け合う 地域の自主防災

非常事態における防災・減災の要といわれているのが「共助」、つまり「自分たちの住んでいる地域を自分たちで守る」という考え方です。そのために具体的な活動をおこなうのが、地域住民が連携し防災活動をおこなう「自主防災組織」です。町内でも各地域民の皆さんによる自主防災組織の自発的な立ち上げが進んでおり、現在では22の地区で結成されています。

自主防災組織は、平常時には防災知識の普及啓発、地域内の防災のた

### 非常時の持ち出しリュックの中身(例)

- ラジオ
- ウェットティッシュ
- 携帯電話など
- 石けん・歯ブラシ
- 乾電池・携帯充電器
- メモ・筆記用具
- 多機能ナイフ
- ラップ
- 軍手(すべり止め付き)
- ビニールのごみ袋
- タオル・衣類・下着
- 使い捨てカイロ・防寒具
- 水・食料
- 紙コップ・紙皿・割りばし
- 救急用品
- ポケットティッシュ



めの巡視や点検などをおこないます。町内では独自に防災訓練を実施している地区もあり、非常時に備えて一体となった取り組みが進んでいます。非常時には町や消防署などの公的機関と連絡を取り、地域民に正確な情報を伝達します。避難誘導や救出活動においては、一人暮らしの高齢者など迅速な行動が難しい方の避難を助ける際に大きな力になります。

午後7時〜午後10時  
避難所到着 安否確認

自宅から学校までの道のりは、以前、家族と一緒に歩いたことがある。いざというときのために、多少遠回りでも安全な避難ルートを決めておいたのだった。しかし、安心だと思っていた道でも、側溝から雨水があふれ出して川のようになっている場所もあった。懐中電灯で足元を照らし、足首まで水に浸かりながらゆっくりと気を付けて歩く。

告」だ。私の住む地域も対象区域に入っているようだ。妻と子どもたち、すぐに避難所に向かうと声をかけた。家の中の火元を確認し、ブレーカーをオフにする。レインコートを着用し、非常時の持ち出しリュックサックを背負って、外に出た。家の外に一步出た途端、凄まじい勢いの雨が全身を叩いた。分厚い雨雲のせいで空は暗く、雨のしぶきもあって辺りの様子が見えにくい。懐中電灯の電源を入れて周囲を照らすと、普段は川面よりずっと高い場所にある遊歩道が、あふれだした川の水で覆い隠されているのが分かった。子どもの小さな手をしっかりと握りしめ、避難所に指定されている左沢小学校を目指して歩き出した。

小学校の体育館に到着した。それほど長くはない距離だったが、荷物を下ろした瞬間にどつと疲れが出た。体育館には、すでに何人も避難者が到着していた。その中で、見覚えのある顔に視線が止まった。お隣のBさんだ。床に段ボールを敷いて座っている。すぐさま駆け寄り、無事でよかったと伝える。Bさんの話では、「避難準備・高齢者等避難開始」の発令後に、同じ地区の方が数人で自宅を訪れ、避難所まで連れて来てくれたという。これで一安心だ。

避難所担当の町職員が、説明に訪れた。増水した川の水は引く心配がなく、避難勧告の解除の目途は立っていないとのことだった。少なくとも今夜は避難所に泊まらなければいけない。非常食に飲料水、着替えなど、避難生活に必要なものは一通り持ってきている。しかし、いつになったら帰れるのか……不安の中、一夜を過ごすことになった。

- ※1…増水した川に近づくのは非常に危険です。テレビやラジオ、防災無線などで情報確認してください。
- ※2…防災行政無線の音声放送は、場所や状況により聞こえづらく場合があります。あらかじめお願ひした場合は、電話応答サービス☎(83)8171で内容の確認ができます。

カウントダウンはもう始まっている

また、地域内の危険箇所などを熟知している方も多いため、地域の皆さんが安全に避難するための助けとなることが期待できます。

50年前の羽越水害をはじめ、本町において過去に大きな被害をもたらしてきたのは、月布川や最上川の氾

地区内で役割を  
決めて災害対策



大江町区長会長  
松田栄一さん(9区)

9区では、自主防災組織の研修会への参加などによって防災意識が高まり、平成22年4月に「第9区自主防災会」を立ち上げました。補助事業を利用して防災備品を購入し、毎月点検を実施しています。また、地区民の皆さんで役割を分担し、緊急時の連絡体制も整えました。

しかし、現実には災害に直面したら、なかなか思うようには動けないものです。今後は、実際の災害発生を想定した訓練も必要ではないかと考えています。

危険を感じたら  
自主的に避難を



大江町消防団長  
鈴木直喜さん(月が丘)

平成26年の「7・9水害」が発生したのは深夜帯だったため、消防団員が各戸を訪問して皆さんに声をかけ、避難を呼びかけていました。防災行政無線が整備されたことで、今後は広く効果的に呼びかけができると期待しています。

危険が間近に迫ったときは「自分の身は自分で守る」必要があります。近所の危険箇所をハザードマップで確認しておくなど、各自での日頃からの備えが、いざという時に自分や家族を守ることにつながります。

災害発生までのカウントダウンは、人知れず進んでいます。カウントが「ゼロ」になるその日への備えを、家庭内で、地域内でもう一度確かめてみてはいかがでしょうか。

また、地域内の危険箇所などを熟知している方も多いため、地域の皆さんが安全に避難するための助けとなることが期待できます。

また、地域内の危険箇所などを熟知している方も多いため、地域の皆さんが安全に避難するための助けとなることが期待できます。

# 1

## ■よりやさしく、利用しやすい庁舎へ ～役場庁舎エレベーター設置工事開始～



▲役場庁舎エレベーター完成後の、庁舎外観予定図。現在の正面玄関部分にエレベーターを設置するための棟が新たに設けられ、外観が大きく変わります。また、玄関東側に新しいスロープを設置する予定です

役場庁舎へのエレベーター設置工事が、6月19日から始まりました。庁舎のエレベーターは、町民の皆さんのほか役場を利用される方々、特に高齢の方がより利用しやすいよう、庁舎のバリアフリー化を推進するために整備するものです。

現在の正面玄関部分にエレベーター棟を新たに整備し、車いすでも利用可能な11人乗りのエレベーターを設置します。これにより、1階から3階まで昇降ができるようになります。また、これまで玄関前にあったスロープを撤去し、傾斜が緩やかで歩行しやすいスロープを東側に新しく設けます。

また、玄関に入って左側にある出納室前の手動ドアを自動ドアに変更するなど、来庁される皆さんにとって使いやすい庁舎となるよう、内装についても一部改修をおこなっていきます。

エレベーター設置工事は、11月30日を完成期限としています。工事期間中は安全対策として、正面玄関付近一帯を仮囲いするため、工事が完了するまでは正面玄関からの出入りができません。このため、庁舎への出入りについては、西側または東側玄関を利用していただくことになります。

工事期間中は、庁舎を利用される皆さんにご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

# 2

## ■無線で伝える皆さんへのメッセージ ～防災行政無線定期試験放送～

町では防災行政無線の試験として、6月から毎月1日12時に、町内の小学生が読み上げたメッセージを放送しています。

6月1日は左沢小学校6年生の磐田彩乃さん（小漆川）、7月1日は本郷東小学校6年生の田村晟悟さん（下北山）が担当。町内全域に向けて、地域の皆さんへ感謝の言葉と、それぞれの学校行事の紹介が発信されました。

また、毎日17時には試験を兼ねてメロディチャイムを放送しています。これまで「最上川舟唄」「大江町民歌」「夏の思い出」を放送しており、今後も曲目を定期的に変更して実施する予定です。



▲メッセージを収録する左沢小学校6年生の磐田彩乃さん（左）と、本郷東小学校6年生の田村晟悟さん（右）

# 3

## ■学ぶ楽しさを「ぷくらす」で

## ～おおえ町民大学「ぷくらすカレッジ」開校～



▲落語家の春風亭小柳さんによる開校記念講座



▲遊びながら楽しく英語に触れる講座「Happy Happy English」。「わくわく学部」の講座のひとつです

町教育委員会では、これまでの生涯学習事業をリニューアルし、おおえ町民大学「ぷくらすカレッジ」を今年度から開始しました。

「ぷくらすカレッジ」は、昨年オープンした新しい中央公民館を主な学習の拠点として、幅広い年代の皆さんが楽しみながら知識を深められる、多種多様な講座です。各講座は「学び・語らい・遊び」をテーマとして、知識などを深める「どきどき学部」、子どもたちが一緒に活動を楽しむ「わくわく学部」、同じ世代の仲間と学びや交流をする「いきいき学部」の3つの学部に分かれており、合わせて17の講座が開かれています。

さらに、地区や団体などが講座内容を自由に選び、その内容に合った講師を派遣して講演をおこなう「フリープラン講座」、町民の方が自分の経験を生かし自ら講師となって講座を開く「でばん講座」が9月から開始される予定となっています。

5月21日には中央公民館町民ホールで開校式がおこなわれ、約110名の方が来場しました。開校記念講座では落語家の春風亭小柳さんが講師に招かれ、落語の成り立ちとその面白さについて分かりやすく解説。落語でよく目にする「そばを食べる身ぶり」を来場した皆さんに伝授したほか、古典落語の演目「<sup>てんしき</sup>転失気」を披露し、会場は大きな笑いに包まれていました。

# 4

## ■絶景への道、再び ～神通峡安全祈願祭～

災害により被害を受けた神通峡遊歩道の復旧工事が完了し、6月16日に遊歩道内の不動明王像前で安全祈願祭がおこなわれました。神通峡は、平成25年の雪崩や2年続けての豪雨災害により、橋や道路が崩落するなどの被害を受け、通行ができませんでした。開通に向けて進められてきた復旧工事は、昨年12月に完成。月布川の流れる長い年月をかけて作りあげた壮大な渓谷の美しさを、再び見ることができるようになりました。

4年ぶりとなった安全祈願祭には、町観光物産協会関係者などが出席。会長の佐藤進さん（8区）は、「修復された遊歩道は以前よりも広くなり、歩きやすくなりました。この美しい自然を多くの方に見ていただけるようになって、嬉しく思います」とあいさつしました。

秋には紅葉の神通峡を楽しめるイベントを実施する予定となっており、このたびの復活を契機に、より多くの方が神通峡や周辺観光施設を訪れることが期待されます。



▲不動明王像前でおこなわれた安全祈願祭



▲修復工事が完了し、通行が可能になった遊歩道

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

今年の春の叙勲において、大江町消防団前副団長の鈴木茂さんが、消防団員としての長年の功績が認められ、瑞宝単光章（消防功労）を受章されました。

鈴木さんは、昭和51年4月に消防団に入団。平成25年3月末に退団するまで、36年間にわたって消防活動に励まれました。



瑞宝単光章

鈴木 茂さん(荻野)

また、火災の発生を抑えるべく、日頃から防火思想の普及高揚と予防消防に努められました。

近年町内で発生した火災では、鈴木さんは副団長として、消防活動の指揮にあたり、経験に基づく冷静な判断と的確な指示で、被害拡大防止に多大な貢献をされました。

長年にわたって消防活動に携わり、町の防災の要としての役目を務められてきた鈴木さん。「受章できるなどとは思っていなかったのですが、驚きです」と、受章の喜びを話してくださいました。

瑞宝双光章

佐竹正美さん(美郷)

町の収入役などを歴任され、3月20日に亡くなられた佐竹正美さんに、瑞宝双光章（自治功労）が贈られました。

佐竹さんは昭和26年に七軒村職員となり、合併後は大江町職員として職務に励まれました。

平成5年7月からは収入役として、町政の発展のために尽力されました。

また、退職後は選挙管理委員会委員長などを務められ、地域と行政の橋渡し役として、町づくりに大きく貢献されました。

議会

town council  
第2回定例会

大江町議会第2回定例会が、6月6日から8日までの会期で開かれました。今定例会では、工事請負契約の締結や各会計の補正予算などが審議され、原案どおり可決・承認されました。また、冒頭で渡邊町長より行政報告がありましたので、その一部をご紹介します。

行政報告

大江町産業振興公社の決算報告  
公社からの報告によると、公社が管理する施設全体の昨年度の利用者数は約63万4千人で、対前年

契約締結

度比0・23%の微増、売上高は2億7998万8千円で3・42%の減となりました。その要因は、入浴料は増えたものの、物品販売収入と受託事業による売上が減少したことなどであるとのこと。

補正予算

今年度実施を予定している役場庁舎エレベーター設置工事について、指名競争入札の結果、落札した株式会社高木と工事請負契約を締結することが可決されました。なお、工事の完成期限は11月30日です。

平成29年度大江町一般会計予算について、歳入歳出のそれぞれに9億630万円を追加し、予算総額を51億630万円とする補正予算案が提出され、可決されました。

# 3歳児 Smile Photo

スマイル フォト

6月6日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します！(順不同)



おぐにたまお  
小國珠央ちゃん  
7区



いがらしみずき  
五十嵐瑞姫ちゃん  
13区



よこくら じん  
横倉 迅くん  
10区



わたなべ きお  
渡邊希央くん  
美郷



ささ きおうすけ  
佐々木桜介くん  
柳川



くろかわはると  
黒川大翔くん  
諏訪原



こんのえいた  
今野瑛太くん  
月が丘



まつだれおん  
松田玲恩くん  
下北山



おおぬま あいな  
大沼愛奈ちゃん  
蛭水



はぎのかいと  
萩野海翔くん  
13区



しとうそうすけ  
志藤聡恭くん  
小漆川



うるしばた みほ  
漆畑 実帆ちゃん  
富沢



いがらしはるあき  
五十嵐春明くん  
富沢



すがのじょうた  
菅野丞太くん  
8区



かとうひろや  
加藤広也くん  
伏熊



すがいさほ  
須貝紗保ちゃん  
美郷



とがしろうた  
富樫奏太くん  
2区



かしわぐらたくみ  
柏倉拓海くん  
藤田



いとうかのん  
伊藤花音ちゃん  
9区



よこやま そう  
横山 湊くん  
市の沢

※お問い合わせは、健康福祉課☎(62)2114まで

## 6/4 見て、触れて、作って楽しむ

趣味のサークルや個人が制作した工芸作品などを展示発表する「あじさい手作り工芸まつり」が、6月4日に開催されました。12回目の開催となった今年は、中央公民館に会場を移し、34団体が参加。工芸品の展示や販売だけでなく、町ならではの味覚を楽しめるブースも並び、五感で楽しめるイベントとなりました。

会場では色彩魚拓や陶芸、アクセサリーや折り紙など、実際に工芸作品の制作を体験できるコーナーもあり、たくさんの家族連れや子どもたちが、自分だけの作品作りを楽しみました。



▲折り紙でいろいろな動物作りに挑戦



▲布などでデザート風の小物を作るコーナー



▲色彩魚拓作品展示と体験コーナー



▲たくさんのブースが並び、多くの来場者でにぎわう町民ホール



## 6/25 家族や友達みんなで完走!

町内外からランナーが集う第35回「舟唄健康マラソン大会」が、6月25日におこなわれました。この大会は、2kmから10kmまでの4つのコースを走るマラソンと、5kmのウォーキングがあり、合わせて322人の方がエントリー。初夏の緑あふれる景色を楽しみながら、完走を目指しました。

今年は、東海大学山形高校陸上競技部などのゲストランナーが初参加し、力走を披露。ゴール地点や給水所にはやまがた地鶏のから揚げや町産の果物ジュースなどが用意され、参加者は、走りとともに町の味覚も満喫していました。



## 6/3 正々堂々、力と技の応酬!

左沢小学校の伝統行事のひとつである相撲大会が、6月3日に開かれました。取組に先立ち、5・6年生が恒例の「相撲甚句」を披露。子どもたちがひとつになった力強い唄声が響きわたりました。

相撲場では5・6年生の取組の後、東西の横綱が堂々たる四股を踏む土俵入りを披露。6年生男子の一本勝負では、投げの打ち合いや土俵際のせめぎ合いで、土俵下を大いに沸かせました。

グラウンドに設けられた土俵では、1年生から4年生の児童が取組をおこない、保護者の皆さんの大きな声援を受けて名勝負を繰り広げました。



7/3 明るい地域づくりを目指して

犯罪の防止と更生についての理解を呼びかける第67回「社会を明るくする運動」キャラバンが、7月3日におこなわれました。この運動は西村山地区保護司会大江分会が中心となって推進しているもので、出発式には民生児童委員協議会や防犯協会などの関係者をはじめ、多くの方が朝早くから参加しました。

その後のキャラバンでは、JR左沢駅前と大江中学校前で、通学中の高校生や中学生などにポケットティッシュを配りながら、非行防止などを呼びかけました。



6/28 大空襲の惨劇を語り伝える

町社会福祉協議会が主催する、大江町戦没者追悼式が、6月28日にふれあい会館でおこなわれました。式典には、町遺族会の皆さんなどが参列し、献花をして戦没者の霊を弔いました。

今年は第2部として、東京大空襲の「語り部」として活動する二瓶治代さん(東京都)の講演がおこなわれ、会場に詰めかけた約400人の来場者を前に、二瓶さんは8歳の時に体験した大空襲の壮絶さを生々しく語りました。また、会場には焼夷弾の実物や東京大空襲の写真などが展示され、来場者は戦争の記憶を伝える品々に見入っていました。



▲一般の部優勝 小林宗三さん

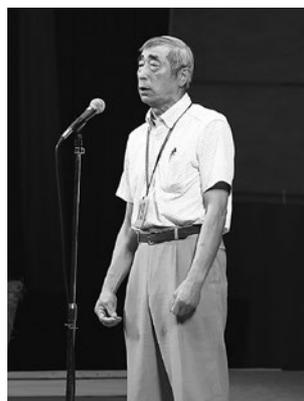
6/25 舟唄の故郷で響き合う調べ

日本一の唄い手を決める「正調最上川舟唄全国大会」が、6月25日にふれあい会館で開催されました。34回目を迎えたこの大会には、合わせて62名がエントリー。県内外から集まった唄い手の皆さんが、この日のために練習を重ねた自慢の唄声を会場に響かせました。

また、今大会には、テレビの民謡番組などでおなじみの民謡歌手「隠岐むすめ」ゆかりさんがゲストとして出演。その伸びやかな歌声に、会場の皆さんから大きな拍手が送られました。



▲ゲスト出演の「隠岐むすめ」ゆかりさん



▲シニアの部優勝 佐藤昭二さん

《大会結果》各部門5位まで・敬称略

- ◇一般の部 / 優勝 小林 宗三 (宮城県)  
 準優勝 水戸 邦夫 (天童市)  
 第3位 奥山 ヒデ (河北町)  
 第4位 植村美佐江 (東根市)  
 第5位 高澤 幸子 (山形市)
- ◇シニアの部 / 優勝 佐藤 昭二 (天童市)  
 準優勝 鈴木 健 (宮城県)  
 第3位 鈴木 善美 (山形市)  
 第4位 伊東 喜一 (宮城県)  
 第5位 東海林チヨ子 (山形市)
- ◇ジュニアの部 / 優秀賞 佐藤 美玖 (寒河江市)

いのしし猪を見たことがない。映像に映る猪は一見ころろに見えて可愛いな、と思っただけで、猪突猛進という言葉もあり、「頑張りやさん」だ、と思っただけ。牡丹鍋もこれまたおいしい。「憎い奴だ」と思ったことはない。しかし鹿は修学旅行の奈良公園で初めて触れた。クラス毎の記念写真前景には、5、6頭の鹿も写っていて、写真屋さん、シャッターを切る直前に、鹿せんべいをばらまいて撮った写真だ。子鹿のバンビは、映画では「めんこい素敵な動物」であった。くま熊にまたがる金太郎、子どもたちと相撲をする熊の絵本もあって、熊は「友達以外の何者」でもなく、生き物は「みんな友達」だ、と思っただけ、今までは。

このごろ、人間が近づきすぎているからか、動物が人間の側までやってくるようになったためか、「鳥獣・昆虫・植物」が「有害」で、生活できないほどの被害が発生し、やむなく移住を迫られている集落もあるという。大江町でも猪が、丹精込めて作ったジャガイモ畑を掘り起し、全滅させた。外国からやってきた動植物も含めて、いまや「有害鳥獣・昆虫・植物」だらけだ。昔の「絵本の世界」は頭から消えかかっている。昔は「みんな友達」だったのに……なんちゅうこった？

「地球温暖化」、「気候変動」の主な原因は「便利な生活」だという。被害者・加害者を同居させる現代人に、「我が罪は、我が前にあり」となす力があるか、否か。トランプ占いででもしてみるか、な。

大江町長 渡邊 兵吾

# 地域おこし協力隊通信

No.34



昨年からは福島などからお客様をお迎えして、田植えや稲刈りなどの体験活動をおこなっています。今年はやまさあべに強力なスタッフが入ってくれたこともあって、昨年よりも耕作する面積を約3倍に増やしての活動がスタートしました。私が柳川で田んぼをやっている理由は、大きく分けて2つあります。1つは「耕作放棄地」という地域がかかえる問題の解決に、少しでも私の活動を役立てたいということ。そしてもう1つは、ホテルをはじめとする田んぼの生きものたちを増やすことです。きれいな水でつくるとおいしいお米はもちろん地域の資源ですが、ネイチャーガイドの立場からすれば、そこにさまざまな生きものが住めることは、それと同じくらい魅力的な観光資源といえます。だから、少々大変でもできるだけ農業は使わないし、今年は実験的に「不耕起田んぼ＝耕さない田んぼ」なんてこともやっていたりします。そんな一風変わったことができるのも、地域の方々のご理解とご協力があってこそです。



▲福島の子どもたちと田植え

地域おこし協力隊 佐々木 隆馬

## 短歌

万緑の歩み行きたき山道に風の音にぞ香り身にしむ

松田 靄

蔵一つ古き品々廃棄せり身軽になりて次の舞台に

山家 重之

垂直のネットに小手を絡ませて登り行きたる坊ちゃん南瓜

佐竹磨砂湖

若き日々思い出しつつ笹巻を作りて孫は喜び食す

長岡かづ子

桜木の下に奉書の若落葉あれは葉巻の虫の恋文か

菊地つねよ

生れ出づ蚕桑むさぼりそれぞれに蚕は首ふりて糸吐き籠る

佐竹 興鼓

浅つきの花あわあわと咲きにけりうすむらさきや老いらくの恋

斎藤 徳治

## 俳句

手をくだす阜今年も咲き誇る

鴨田富士夫

筍山背負子に二本下りにけり

阿部 一風

咲きほこり風の吹くなり花菖蒲

松田 靄

紺碧の空押し上げて初夏の峰

今井 茂樹

片づけし蔵の中にも梅雨さざす

山家 重之

賑やかに小学生の田植かな

清野今日子

造園の一日三合の汗しとど

熊谷 勉

誕生日在りて今あり七変化

舟山 三男

山鳩の鳴き出してゐる桜桃忌

伊藤 啓泉

吟遊浪漫  
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



**Youthful**  
★ トーク ★

金融機関に勤務して5年目となる伊藤さんの趣味は、なんと海外旅行。英語圏を中心に、これまでさまざまな国を訪れたことがあるそうです。

「学生時代、海外へ2カ月の短期留学をしたことがきっかけで、外国の文化に触れるのが大好きになりました。今では『年に1回は必ず海外旅行に行く』と決めて、仕事を頑張っています(笑)」

伊藤さんのもう一つの趣味は、中学生の時から始めたクラリネット演奏です。毎年3月に開催される「ひなまつりコンサート」にも何度も参加しており、妹さんと姉妹でのデュエットを披露したこともありました。低い音のふわっとした柔らかい音色が、クラリネットの魅力だそうです。

そんな伊藤さんの目標は、ヨーロッパのすべての国を訪れるというもの。

「ヨーロッパで一番行ってみたいのは、イタリアです。あと、ボリビアのウユニ塩湖にも、いつか必ず行きたいですね」と、夢はますます広がっていくようです。

目指すは「ヨーロッパ制覇」  
伊藤 友紀さん (26歳・藤田)

シリーズ企画

月刊 **仲間とエンジョイ!** No.7

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

**混声合唱団 ECHO**  
代表：木村正義さん(下北山)

混声合唱団ECHOは、男女合わせて4パートの混声四部合唱に取り組む団体です。大江町民歌の作曲者である松田光郎氏のもと、昭和43年に「混声合唱団もみのき」として発足。以来、50年近くにわたって合唱を続けています。メンバーは現在17名。月3回、火曜日に中央公民館などで練習しています。合唱曲、歌謡曲、ポップスなど多彩なジャンルに挑戦し、文化祭やひなまつりコンサートで美声を披露しています。

「きれいなハーモニーをつくるのはとても難しいんですが、うまく響いた時には達成感がありますね」と話すのは、事務局の安藤宏さん(12区)。現在、秋の文化祭に向けて練習中です。



▲混声合唱団ECHOの皆さん



▲文化祭に向けての練習風景。4つのパートが重なりあい、美しいハーモニーが生まれます

# お知らせ

## Information

### 8月から高額介護サービス費の基準が変わります

今年の8月サービス利用分から、月々の負担の上限(高額介護サービス費の基準)が変わり、世帯のどなたかが町民税を課税されている場合の月額負担の上限が、37200円から44400円に引き上げられます。

健康福祉課福祉係 ☎(62)2285

### 納税などは便利な口座振替で!

仕事や外出などで、金融機関などの納付窓口へ行く時間がないという方は、口座振替の利用が便利です。自動引き落としですので、納め忘れの心配もありません。便利で確実な口座振替をお勧めします。

◆利用できる町税など／①町県民税、②固定資産税、③軽自動車税、④国民健康保険税、⑤後期高齢者医療保険料、⑥介護保険料

※①、④、⑤、⑥は普通徴収(納付書で納める方)のみになります。  
 ※保育所使用料、水道使用料、下水

道・農集施設使用料、町営住宅使用料も利用できます。

◆利用できる金融機関／さがえ西村山農協、山形銀行、きらやか銀行、山形中央信用組合、ゆうちょ銀行

◆利用方法／金融機関(町内)の窓口で口座振替依頼書を準備していただきますので、所定の事項を記入・押印し、預貯金口座のある金融機関の窓口に提出してください。また、口座を変更する場合は死亡による口座解約含む)する場合も同様の手続きが必要ですよ

税務町民課町民税係

☎(62)2119

### 点訳、音訳および音訳校正ボランティア養成講習会

視覚障害者の情報獲得方法の一つである点字図書・録音図書の制作をおこなうボランティアを養成する講習会が開催されます。

◆期日／9月6日(水)～平成30年10月上旬

◆会場／山形県立点字図書館

◆募集人員／点訳・音訳・音訳校正各10名程度

◆対象者／高校卒業程度の学力を有し、読書に親しみを持つ方・パソコン操作が可能な方・パソコンを所有

している方・全期間受講できる方で修了後、点字図書館のボランティアとして継続して活動が可能な方(学生は除く)

◆受講料／無料

※7月25日(火)13時半から、村山保健所で事前説明会が開催されます。受講を希望される場合は、7月21日(金)までにお問い合わせください。(受付時間9時～16時)

山形県立点字図書館

☎023(631)5930

### 新規で狩猟免許を取得する方へ助成します

町では、クマやイノシシのような有害鳥獣への対策に新たに協力してくださる方への助成をおこなっています。

◆対象／狩猟免許取得後に大江町猟友会と鳥獣被害対策実施隊に加入し、町の有害鳥獣への対策活動に協力してくださる方

◆助成内容／①狩猟免許試験に向けて開催される講習会の受講料を全額補助、②狩猟免許試験の受験料を全額補助

◆日程／①講習会8月12日(土)、②試験日9月9日(土)

農林課農政係 ☎(62)2115

### 健康づくり教室 高血圧予防編・調理実習

生活習慣病予防を目的とした「健康づくり教室」の第2回目は、高血圧予防編として調理実習をおこないます。血圧の高い方の塩分摂取量の目安は、1日6グラム未満です。実際の調理実習で、脱・高血圧を目指しましょう!参加された方には、減塩食レシピをプレゼントします。参加費は無料です。

◆日時／7月25日(火)10時～13時  
 ◆場所／保健センター  
 ◆内容／講話・調理実習  
 「1食塩分2g未満の食事」

◆講師／大江町主任管理栄養士  
 ◆申込方法／7月18日(火)までに、お電話でお申し込みください。

健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114



### オールやまがた2018 ハローワーク学生就職面接会

平成30年3月新規卒予定者などを対象とした就職面接会が実施されます。

◆日時／8月10日(木)13時～16時半

◆場所／山形ビッグウイング

◆対象者／平成30年3月卒業予定の大学・短大・専修学校・高専の学生

## 農業用使用済プラスチックの回収について



農家の皆さんが出される農業用のビニールやポリなどは「産業廃棄物」となり、野焼きや不法投棄をすることは法律で禁止されています。このため、町内の農業生産者団体と各関係機関で組織する大江町農業用使用済プラスチックリサイクル推進協議会では、年3回の回収を実施しています。今年度の回収計画は次のとおりですので、この機会にぜひご利用ください。

- ◆回収日/7月21日(金)、9月15日(金)、11月17日(金)
- ◆搬入時間/8時~10時
- ◆搬入場所/クレンズ興産
- ◆搬入方法/直接自己搬入をお願いします。トラックなどに積んだまま計量し、重量により料金を算出します。スムーズな回収作業のため、きれいなポリとその他プラスチックはあらかじめ分別をお願いします
- ◆回収料金/○きれいなポリ  
(さくらんぼ、ぶどうの雨よけポリのみ)…無料  
○その他プラスチック…30円/kg(税込)
- ◆その他/当日回収へお越しの方には、指定家庭系もやせるごみ袋(緑色文字)を差し上げます。

推進協議会事務局(大江営農生活センター) ☎(62)3217、  
または農林課農政係 ☎(62)2115

(卒業後3年以内の既卒者を含む)  
◆参加企業/県内に本社または就業場所を有する企業140社参加予定  
企業ごとに設置されたブースで個別面接ができません  
☎023(626)6109

7月24日~30日は肝臓週間  
肝炎夜間相談を開催します  
◆日時/7月25日(火)13時~20時  
◆会場/村山保健所(山形市十日町)  
◆内容/肝炎相談、血液検査(B型肝炎抗原検査・C型肝炎抗体検査)

- ◆その他/○相談・検査は、匿名・無料で受けられます ○相談は保健師が対応します ○事前予約制ですが、当日受付も可能です
- ☎村山保健所保健企画課感染症予防担当 ☎023(627)1117
- ◆日時/8月26日(土)16時~
- ◆会場/やまや園ピザリア(中山町)
- ◆対象者/25~40歳の独身の方
- ◆募集人数/男女各12名
- ◆参加料/男性5千円、女性3千円
- ◆申込締切/7月31日(月)
- ◆申込方法/次の①~⑤を明記の上、

### 婚活イベント 「サマー・キャンドル・ナイト」

- 中山町商工会青年部主催の婚活イベントです。畑の真ん中のピザ屋さんで婚活しませんか?
- ◆日時/8月1日(火)18時半~20時
- ◆場所/らふらんす大江 正面広場(雨天の場合中止)
- ☎らふらんす大江 ☎(83)4800

### らふらんす大江 夏まつり開催のお知らせ

- 盆踊り、お楽しみ抽選会、屋台など楽しい催し物を用意しています。皆さんのお越しをお待ちしています。ボランティアも募集中です。
- ◆日時/8月1日(火)18時半~20時
- ◆場所/らふらんす大江 正面広場(雨天の場合中止)
- ☎らふらんす大江 ☎(83)4800

### 編集後記

現在、夕方5時に防災行政無線で流れているメロディは、音楽の教科書でもおなじみの曲「夏の思い出」です。作曲者の中田喜直氏は他にも数多くの童謡や歌曲を手がけていて、大江中学校校歌も作曲しています。そこで、今年発行された「大江町学校校歌集」に収録された楽譜を改めて見てみると……音の強弱などの指定が細かく、他の校歌にはない「フォルティッシモ(非常に大きく)」という記号も。抑揚のある、表情豊かなメロディが描かれているのがわかります。大江中生の皆さん、校歌を歌う時はアタマから「フォルテ」で! (伊藤智治)

大江町職員採用試験  
申込書受付中 [8月9日(水)まで]  
☎総務課庶務係 ☎(62)2112

メール (nakayamakonkatsclub@gmail.com) またはFAX (023(662)2073) でお申し込みください。①氏名、②住所・年齢・職業、③メールアドレス、④常時連絡が取れる電話番号、⑤お友達の氏名(お友達と参加の場合)  
☎中山町商工会 ☎023(662)2207

# 思い出の No.21 まいぞうひん My蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲キャンプの必需品であるランタン。製造から約60年経った今も、明るく温かみのある光で周囲を照らし出します  
 ◀「使うときにちょっとコツが必要ですが、壊れにくくて良いランタンです」と話す沖津さん

このランタンは、1958年10月に製造されたコールマン社の200Aという製品で、「赤ランタン」という通称で呼ばれています。ある方からボロボロの状態で譲り受け、25年前にメーカーメンテナンスを受けて現在に至ります。もちろん現役。キャンプサイトを雰囲気よく照らしてくれます。燃料はホワイトガソリン。スイッチひとつで点灯するLEDとは違い、点火するのに手間がかかりますが、真っ暗な夜を「コォー」という音とともに力強く照らしてくれるので、安全にキャンプが楽しめます。

最近では、1965年5月（私の生まれた年）製造のランタンを物色中です（笑）。

（10区 沖津雅秀）

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありますか？  
懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。  
総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

5月21日～6月20日受付分

### お誕生おめでとう

区名 氏名 性別 父母名  
 蛭水 荒木 玲 男 大・恵

### ご結婚おめでとう

区名・出身地名 氏名  
 (13区 嶋之木卓哉  
 山辺町 鈴木 智幸

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
若原	鈴木 啓	(72)
藤田	安藤 利光	(66)
下北山	菊地 きみ糸	(93)
小漆川	北本 みつ糸	(88)
1区	奥山 きみの	(103)
月布	林 義一	(74)
藤田	鈴木 ふみ江	(89)
荻野	鈴木 康信	(88)
富沢	小野 孝二	(80)
堂屋敷	工藤 恵子	(67)
9区	安藤 トラ子	(90)
9区	高梨 健悦	(78)
荻野	最上 眞一	(86)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口 8,488人(-11)  
 男 4,204人(-7)  
 女 4,284人(-4)  
 世帯数 2,940戸(-2)

平成29年7月1日現在

※掲載を希望しない場合は、  
届け出の際にお申し出ください。